

看護の日で健康相談

健康への関心高めて

5月12日の「看護の日」にちなんで、城西病院看護部は10日、病院外来待合室わきで、毎年恒例の「看護の日イベント」を開きました。

イベントは、「皆さんの健康づくりのお手伝い」として企画。身長、体重、血圧、体脂肪などの健康チェックのほか、健康相談、介護相談、栄養相談などを行いました。

病院を訪れ、看護の日の看板を見た人たちは、関心を持ち、「体重を測ってもらえますか」と尋ねて、健康チェックをしていました。「体重が増えた」、「血圧が高めなんです」など、健康チェックの後に悩みを看護師に相談される方も多い一方、「血圧が正常だった」、「体重が減った」と喜ぶ人もいました。

平成29年5月10日



看護の日

看護の日は、近代看護教育の母、フローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで、国際看護師協会が1965年に5月12日を「国際看護師の日」に制定。日本では厚生労働省が1990年に「看護の日」に制定しました。



ナイチンゲール誓詞

われはここに集いたる人々の前に厳かに神に誓わん——
わが生涯を清く過ごし、わが任務（つとめ）を忠実に尽くさんことを
われはすべて毒あるもの、害あるものを絶ち、
悪しき薬を用いることなく、また知りつつこれをすすめざるべし
われはわが力の限りわが任務の標準（しるし）を高くせんことを
努むべし
わが任務にあたりて、取り扱える人々の私事のすべて、
わが知り得たる一家の内事のすべて、われは人に漏らさざるべし
われは心より医師を助け、わが手に託される人々の幸のために身を
捧げん

ナイチンゲール聖詞は、看護学校などで、臨床実習の前の戴帽式で唱和し、看護師になる決意を改めて厳かな式の中で確認しています。
ナイチンゲールの偉業をたたえ、その教えをもとに、1893年にアメリカ・デトロイトの看護学校が、「ヒポクラテスの誓い」にならない、作成したものです。